

大阪府内には、日本一の数を誇るものづくり企業があります。それだけ多くあれば、中にはとても面白いことをしている企業があるに違いない……なのですが、MOBI6の取材記事は、間違いないとびきりの魅力溢れる企業ばかり。どんな話を掲載するか、編集者を悩ませるとびきりのネタをぜひご覧ください。

続く▶  モビウェブに全文掲載中! <https://www.m-osaka.com/jp/moov/>

2 時代の変化に応える技術とサービス。 絶えず革新の気概を持つ社風。

流通用段ボールの製造で事業を拡大してきた新居紙器株式会社。しかし大手企業が自社生産をはじめ、価格や量産性では勝てない状況が訪れる。そんな現状に得意分野をつくることで打破した。まず新居章良代表取締役社長が考えたのは、洋菓子業界向けの紙器製品の小ロット生産。ダンボールと紙器を同時に扱える会社は少なく、この事業は口コミで評判が広がり顧客を増やしていった。そして70年以上続く包装資材の製造事業を通じて蓄積したノウハウや技術、機械設備などをもとに、2017年からはオリジナルパッケージを作成できるサービス「ORiPA(オリパ)」を展開している。「ORiPA」は極小ロットでも発注可能。オリジナルで紙箱を製造する場合、従来は印刷、型抜き、糊貼りといった各工程を別の加工会社でおこなうことも多いが、デジタル印刷機と独自加工技術を組み合わせた一貫製造により低価格での提供を実現させている。箔押しやフィルム貼りなどのオプション加工も同様の対応ができ、実機を利用したカラーサンプルの提供で製造後のミスマッチもない。社内にデザイナーも在籍し提案型営業ができる体制を整え、デザインはもちろんのことパッケージのディスプレイ方法まで対応と至れり尽くせり。技術面などの下地を社長が整備し、息子である新居慶二常務取締役がサービス内容を考



焼き菓子用パッケージの一例。リボンの型抜き加工で可愛らしさを演出している。同じ型を使用した色違いなど複数のデザインも製作もできる

えてウェブ展開した。

新居常務は企業支援にも力を入れている。これはパッケージ抜きの純粋な支援活動。顧客の話聞いては実施中の行政支援を紹介したり、損得勘定抜きでコーディネーター的な役割を果たしているのだ。「自分自身も入社後は大阪産業創造館にお世話になっており、積極的に行政支援を活用してきました。ですから企業の経営に関して、少しでも手助けできれば」。最近では創造社デザイン専門学校の力を借りて、生徒の課題としてウェブサイトと販促ツールを制作するしくみをつくった。「なにか違う可能性を見つけないとダメかなと。まったく違うところでの活動が、いつか本業に返って来ると思うので」。そんな想いに突き動かさせるように精力的に活動している。 [続く▶ !\[\]\(17413706fd4997a1a4bdf85c6864eee1_img.jpg\)](#)



箱などの紙加工製品を小ロットでも提供する、オリジナルパッケージ作成サービス「ORiPA(オリパ)」(<https://www.oripa-box.com/>)



顧客支援からはじまったハーバリウム製造。洋菓子に添えて購入してもらえるよう生花やフルーツを閉じこめたハーバリウムを20種類ほど用意し、店名や贈答用の名入れも可能



新居紙器株式会社

<https://www.arai-shiki.co.jp/>
八尾市太田新町8-218 TEL 072-949-2744